

第1回放射線治療あすなろ会 開催結果報告書

【開催日時】 平成28年11月12日（土）13:30～17:30

【講演者及び演題名】

- ・「放射線技師による治療計画」
国立がん研究センター東病院 主任診療放射線技師 有路貴樹 先生
- ・「治療計画に用いるMRI画像」
新潟大学医歯学総合病院 副診療放射線技師長 金沢 勉 先生
- ・「今後の放射線治療に期待すること - no change, no future -」
東北大学大学院医学系研究科放射線腫瘍学分野 教授 神宮啓一 先生

【参加者数】 計200名

(計200名内訳：青森7、秋田16、岩手8、山形8、宮城48、福島24、新潟28、メーカー58、講師3)

【各種認定単位】

- ・日本放射線治療専門放射線技師認定機構 認定単位1単位

【内容】

有路先生の講演では、技術側が治療計画を立てる際に注意すべき点として解剖学的事実やリスク臓器の障害、そして具体例を交えたDVHやマージンの取扱い等を説明いただいた。金沢先生の講演では、MRIの画像はどのようにつくられるのかということから始まり、各種シーケンスによる画像の違い、様々な要因による画像への影響、治療計画に用いる際の注意点ということを説明いただいた。

神宮先生の講演では、近未来の様々な放射線を用いた治療に始まり、世界と国内の医療費等を交え、国民に有益な放射線を目指すという内容を説明いただいた。

その他として、7県の代表者により、各県の放射線治療スタッフの状況や地域の研究会に関して報告があった。

今回の研究会では治療計画に重点を置き活発な質疑が行われた。

